

201710月22日 主日礼拝（洗礼式）

プレイズ

奏 楽

賛 美 讃美歌90番 「こも神のみ国なれば」

（主イエスを愛することは）（み手の中で）

使徒信条

聖 書 ①ヨハネによる福音書 15章1～5節 (p166)

②テモテへの第一の手紙 2章1～5節 (p328)

音 楽 WINGS

証 詞 菅沼福子姉(ドルカス会)

メッセージ ①「切られて実を結ぶ」 久保田豊伝道師

②「ともかく救われてほしい」 大川従道牧師

賛 美 「アメージング・グレイス」(229番・献金)

頌 栄 「それ神はそのひとり子を」(700番) アーメン

祝 禱

聖餐式

「さて、次のことを勧めます。すべての人のために、神のあわれみが注がれるよう熱心に祈り、とりなさない。そして、やがて彼らにも恵みが与えられると信じて、感謝しなさい。」（「テモテ二の」L・B）

【町田ニュース】

- ・ 昼食後、弟子学校があります。（次回の予習・オープンセル実行 I 5課・暗唱聖句 A10）
- ・ 火曜日、**早天祈祷会**で大塚師が説教。お祈りください。
- ・ 今週も祈祷会を大切に(Y)。水曜夜7時半と木曜10時半は**奥山実先生**、金曜夜9時は**小林詩音伝道師**。
- ・ 土曜、**祈り会**は午後4時半。祈りは力です。
- ・ 来週11時は「**オープン礼拝**」。教は大塚師。山上の説教からわかりやすくメッセージします。昼食後は、ハンドベルの集まり。お誘いしましょう。
- ・ 来週は**国際飢餓対策への募金**を集めます。
- ・ 11月3日(金)「**二つの翼カンファレンス**」。交通費 7,650 円を来週までに。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

今年、宗教改革500周年記念。宗教改革についてこの機会に学びたい方はNHKカルチャーラジオ「ルターと宗教改革500年」(NHK出版・江口再起著)をお読みすることをお勧めします。12月まで続くラジオ講義のテキストでもあります。数回に渡り、一緒に宗教改革について学んでみましょう。

キリスト教は元は一つでしたが、5世紀にローマ帝国が東西に分裂するに伴い、東方教会(中心地はコンスタンティノポリス)と西方教会(中心地はローマ。カトリック教会のこと)に分裂。そして、16世紀、宗教改革により西方教会とプロテスタント(諸)教会に分裂。そして今日、3つの大きな流れがある。

宗教改革以来500年間、カトリックとプロテスタントは対立してきたが、第二バチカン公会議(1962)以降和解し、3つの流れは今、平和な関係となる。

宗教改革は社会にも影響を与えた。14～15世紀のイタリア・ルネサンスと16世紀の宗教改革が近代の扉を開いたと言われる。

中世はキリスト教一体社会。教皇と皇帝とが2つの中心となって世界を統治していた。全体が個より優先する先天的身分社会(封建社会)だった。それに対し近代は個人が軸となる後天的な契約社会である。個人一人ひとりの思想や能力、努力が大事にされ、その個人が責任をもって約束し、つながって社会が形成される。

ルターがヴォルムスで開かれた国会で(1521)神聖皇帝のカール5世の前で、権力に屈せずに自説を堂々と主張し、そしてその最後にのべた「われ、ここに立つ」という言葉こそ、近代の個人主義の宣言だとみることができる。

ルターの時代は死の不安が強く(200年続くペストの流行でヨーロッパの4分の1が減った)、民衆の信仰は燃え上がり(この世での平安と、死後の救済を神に願っていた)、権力と贅沢を求める聖職者への不満、資本家の台頭、オスマントルコの進軍などで、社会全体が大きく揺さぶられ、人々は新しい時代を求め改革を求めている。(続く)

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: I テモテ2章～II テモテ2章 Bコース: I エレミヤ7章～24章